

提 案 の 概 要

施設名： 白金児童館

団体名： こころん・ふりあんコンソーシアム

1 管理運営全般について

① 施設管理運営の基本方針等

【理 念】

子どもや家庭のおかれている環境は厳しくなっているなか、児童館は、乳幼児期、学童期、思春期の親子に寄り添い、子どもの心身をバランスよく育てます。

そして、総合的な子ども・子育て支援の視点を持ち、取り組みます。

また、児童館周辺の恵まれた子育て環境と、児童館から離れた東部地域への対応も常に意識し、昭和区の子どもの育つ力、子育て力の向上を目指します。

【基本方針】

- 1 遊びを通して育つ場となります
- 2 子ども・子育ての拠点となります
- 3 昭和区をつなぐ児童館となります
- 4 名古屋市をつなぐ児童館となります。

② 管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

【職員配置の基本的な考え方】

サービスの質の確保と経営の効率性の観点から、原則、これまで館の運営の経験を積んだ現有の職員を配置します。

【人材確保・育成計画等】

- 1 名古屋市社会福祉協議会による一括採用、研修による安定的な人材確保のほか、ふりあんのネットワークを活かした子育て専門職が確保できます。
- 2 名古屋市社会福祉協議会と協力して連絡会等の開催による切磋琢磨します。

2 事業運営の実施計画について

① 子ども育成活動

【基本的なねらい】

遊び場、行事、クラブの活性化を図ることで、利用者が増え、信頼度が高まり、支援の必要な子ども・家庭の早期発見・予防します。

【取り組み内容】

- 1 自主的な遊び場の提供
- 2 行事活動
(新) 平成29年度開設予定の昭和区文化小劇場と連携した取り組みを行います。
- 3 クラブ活動
- 4 読書活動の推進
(新) 外国語のチラシを作成し、外国人の参加につなげます。
- 5 中高生の居場所づくり
(新) 「LINE」を活用してPRを強化します。
- 6 子どもが意見を述べる場の提供
(新) 身近なテーマでのディベートで意見表明の力を養う「子どもカフェ」を実施します。

7 その他

- ひとり親家庭の中学生向けの学習支援を実施します。
- (新) 食を通じて生きる力をはぐくむことを目的とした取り組みとして「リトル☆シェフ」を実施します。
- (新) 市内の児童館と連携して「児童館シンポジウム in ナゴヤ(仮)」を開催します。

② 子育て支援活動

【基本的なねらい】

「赤ちゃんと2人だけの外出デビューは児童館」を目指します。

【取り組み内容】

- 1 子育て家庭を対象とする活動
(新) ニーズや時流の変化に柔軟に対応して内容が変化する「キャンディクラブ」を実施します。
- 2 子育てサークル支援事業
- 3 子育て支援ネットワーク連絡会への参画
- 4 地域子育て支援拠点事業
(新) 支援や交流の場に来られない親子向けに、専任のスタッフによる、訪問型子育て支援「はじめのいっぽ!」を試行実施します。

③ 地域福祉促進活動

【基本的なねらい】

地域全体で子ども・子育てを見守る意識と体制をつくります。

【取り組み内容】

- 1 地域組織活動の推進
- 2 地域住民との交流
- 3 ボランティアの育成・支援
- 4 移動児童館
(新) 「児童館事業の展開」「地域の関係団体の活動支援」「昭和区東部のサテライト児童館づくり」をめざし、専任のスタッフによって運営します。
- 5 児童館を支える地域組織づくり
(新) 最新の子ども・子育て支援についての理解を深めていただくために、屋外に掲示板を新設します。
- 6 世代間交流の推進

④ 留守家庭児童健全育成事業

【基本的なねらい】

さまざまな経験の積み重ねができる場とします。

【取り組み内容】

- 1 安心して過ごせる場にします
- 2 子どもの遊びを大切にします
- 3 学校との連携と子どもの安全
- 4 子どもの関心を引き出す企画を実施します
- 5 自ら学び考える力、思いやる力を育成します。
- 6 切れ目ない子どもの見守り体制づくり

3 収支計画について

① 管理運営にかかる費用等

【考え方】

- 重点的に予算を配分した事項は、子育て支援活動（特に「地域子育て支援拠点事業」は、今回から必須となったため）と移動児童館事業（区をつなぐイメージを実現させるため）です。
- クラブ活動については、年齢やニーズ、開催頻度を見直し、予算を縮小しつつも利用者にとっては魅力ある内容としています。
- 人件費については、安心・安全かつ安定的な施設運営と、児童館の設置目的の達成のためには、人材の定着によるノウハウの蓄積、継続的な育成が欠かせないと考えています。このような視点から、豊富な実務経験や必要な資格をもつ専門職を安定的に確保するために必要な人件費について、限られた予算の中、経営の効率化を図ることで、前回の申請時と同額を積算しています。

【例 平成28年度の経費】

34,870千円

【内 訳】

(単位：千円)

	28年度
人件費	19,900
物件費	8,717
児童クラブ	3,745
学習支援	1,971
小規模修繕	537
ボラ派遣	0
合計	34,870